

ひたちなか市水道事業第4期基本計画

「ひたちなか市水道事業第4期基本計画」は、今後のひたちなか市の水道事業が目指す姿と目標を定め、その実現に向けた施策を水道事業における最上位計画に位置づけるものです。計画期間は、令和8年度から令和17年度までの10年間とします。

基本理念

安全で安心できる水を たえまなく届ける水道

市民の生活を支える重要なライフラインとしての使命をもち、50年後、100年後の将来を見据え、市民、地域、近隣事業体、事業者の皆様と連携しながら、水の恵みに感謝するとともに「安全で安心できる水をたえまなく届ける水道」を目指します。



水道事業が抱える課題

基本目標

いつでもどこでも
安心して飲める水道

災害に強く迅速に
復旧できる水道

健全かつ安定的な
運営が持続的に
可能な水道

実現目標

水の安定供給
水質管理体制の充実

水道施設の強靱化
迅速な応急復旧

持続可能な事業経営
環境負荷の低減
市民との協働

施策

施策1 配水管の圧力安定化及び水質管理
施策2 水安全計画による危機感理の徹底
施策3 貯水槽水道への指導の強化

施策1 水道施設の整備・更新
施策2 応急給水拠点の確保
施策3 事業継続計画（BCP）の強化
施策4 他事業等との協定、連携方策の強化

施策1 アセットマネジメントの活用
施策2 官民連携の推進
施策3 広域連携の強化
施策4 DX技術の活用
施策5 水需要拡大への取組強化

施策6 省エネ機器導入による環境負荷の低減

施策7 水道事業経営審議会開催による事業の透明化
施策8 市民との協働による応急給水体制の継続

安全で安心できる水を安定的に供給するためには、水道施設を適切に管理していく必要があります。しかし、ひたちなか市の水道事業には人口や給水量の減少、老朽化施設の増加などの課題があります。

水需要の減少

人口減少、節水機器の普及により
40年後は約2/3に減少



一日平均給水量
令和7年 4.7万m³/日
令和47年 3.5万m³/日

料金収入の減少

維持管理する水道施設の数
将来もほぼ同じですが、水道事業
を支えるお客様は減少



料金収入
令和7年 30億円
令和47年 24億円

水道施設の老朽化

整備した管路の経年化が進行



60年経過
管路の割合 1.5%
令和7年 1.5%
令和47年 75.1%

災害リスク



南海トラフ地震
発生確率 60~90%
(今後30年以内)

職員数の減少

ベテラン職員の退職



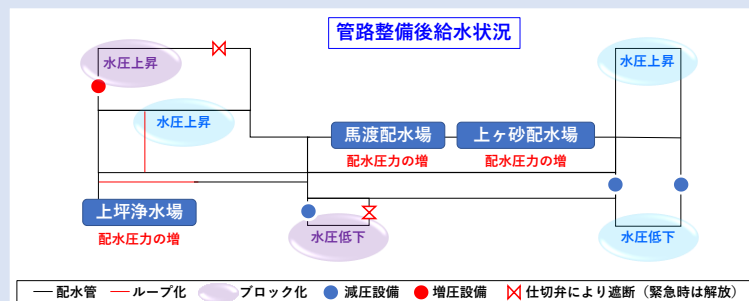
平成29年 47人
令和7年 39人

7つの実現目標と15の施策

いつでもどこでも安心して飲める水道

目標1 水の安定供給

施策1 配水管の水圧を調査し、市内全域の配水圧力の安定化を図ります。管洗浄作業による適正な水質管理や停滞水・赤水の未然防止策を行います。



災害に強く迅速に復旧できる水道

目標1 水道施設の強靱化

施策1 「管路更新基本計画」に基づき、災害時等に都市機能の低下や市民生活に広く影響を及ぼす老朽化した管路を重点的に更新します。馬渡配水場の電気設備及び機械設備の更新を行います。



新しい水道管の布設

健全かつ安定的な運営が持続的に可能な水道

目標1 持続可能な事業運営

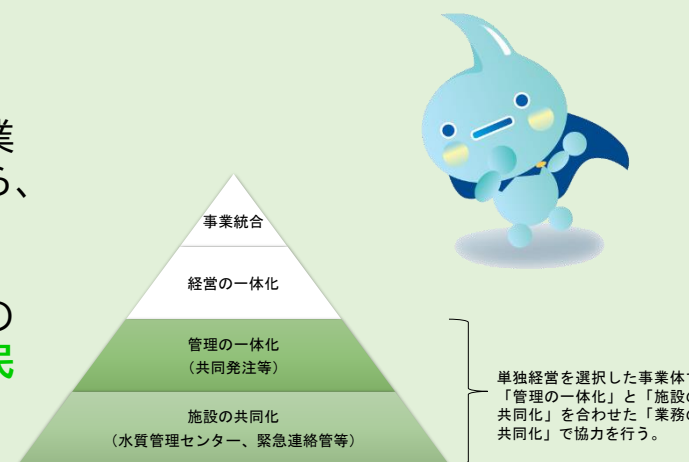
施策1 アセットマネジメントを活用し、更新事業費を平準化し収支のバランスをとりながら、中長期的な財政計画の検討を進めます。

施策2 効率的な事業運営のために包括委託や水の官民連携（ウォーターPPP）など、官民連携の導入を検討します。

施策3 隣接する市町村との広域連携を推進します。

施策4 水道スマートメータの導入など、DX技術の活用を推進し、業務効率化を図ります。

施策5 事業継続のため、企業に対して水道利用を促進する活動や制度の構築を検討します。



広域連携のイメージ

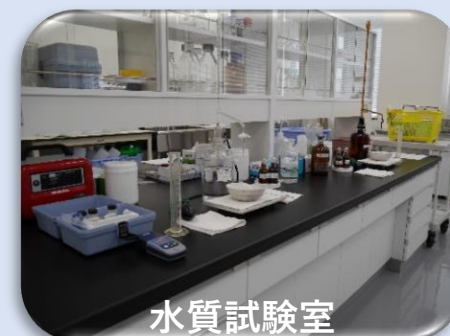


スマートメータ

目標2 水質管理体制の充実

施策2 「水安全計画」に基づき、危機管理を徹底し、毎年度策定する水質検査計画に沿って検査を実施します。検査結果については、ホームページ等で公表し、安全性を発信します。

施策3 貯水槽水道の状況把握と改善に努めるとともに、設置者へ適正管理の指導・助言を継続して実施します。



水質試験室



水質監視局



貯水槽水道マニュアル

目標2 迅速な応急復旧

施策2 給水拠点のない中心市街地や北部地域を対象に、応急給水拠点の確保を検討します。

施策3 策定済みの「地震対策マニュアル」等について、災害時における被害状況、人員、資機材の想定や目標となる復旧時間の設定などについて検討し、事業継続計画（BCP）を作成します。

施策4 大規模災害に対応できるよう現行の協定等を検証し、協力体制の強化を図ります。また、隣接する市町村との連携を強化します。



防災訓練の様子

目標2 環境負荷の低減

施策6 馬渡配水場をはじめとする各施設の更新や修繕に合わせて、省エネルギー化を積極的に推進します。



上坪浄水場の配水ポンプ

目標3 市民との協働

施策7 水道事業経営審議会の審議内容について情報提供するほか、ホームページや市報等をとおして、市民の皆様が必要とする情報の発信に努めます。

施策8 自主防災会との協働による応急給水活動体制を維持するとともに、丁寧な情報提供や訓練の継続に努めます。



応急給水活動体制

